

研究課題名	全静脈麻酔支援シリンジポンプ制御ソフトウェア（AsisTIVA）と High Frequency Variable Index (HFVI) との関連
研究期間	2025 年 8 月 27 日 ～ 2030 年 03 月 31 日
研究の対象	AsisTIVA による全身麻酔症例において HFVI を併用した患者さん
研究の目的・方法	研究目的： 近年、ロボット麻酔システムが臨床で使用可能となりました。ロボット麻酔システムは、安定した全身麻酔維持が出来る一方で、麻酔薬の投与量は脳波（BIS…鎮静の指標）を基に調整しており、独自の鎮痛の評価指標を持たないため、鎮痛薬が現行よりも多くなってしまう可能性が指摘されています。そこで、鎮痛の指標である HFVI を併用することによって、AsisTIVA による全身麻酔の鎮痛薬の使用量が適正か否かを評価することを、本研究の目的としています 研究の方法： 研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータと、麻酔中の生体情報、ロボット麻酔システム、HFVI のモニターをします。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、身長、体重、手術年月、手術内容、既存疾患、麻酔方法、麻酔におけるリスク因子、ロボット麻酔システムにおける薬剤の投与量および目標血中濃度、HFVI の値 試料・情報の管理責任者： 医系科学研究科麻酔蘇生学 助教 神谷 諭史
利用または提供を開始する予定日	2025 年 8 月 27 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 医系科学研究科麻酔蘇生学 助教 神谷 諭史
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた

情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学
助教 神谷 諭史
〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3
電話番号：082-257-5267